

特集

日本における社会的企業の 実践的展開

—その可能性と課題を探る—

深刻な雇用・失業情勢を背景に、さる10月23日、政府の緊急雇用対策本部より発表された「緊急雇用対策」の「緊急雇用創造プログラム」の推進として、＜介護雇用創造＞、＜グリーン（農林、環境・エネルギー、観光）雇用創造＞、＜地域社会雇用創造＞が3つの重点分野として取り上げられ、その中に「社会的企業」の活用が明記されることとなった。

＜地域社会雇用創造＞

○雇用支援分野での「社会的企業」の活用

- ・新たな雇用の場として、NPOや社会起業家などが参加する「社会的企業」主導の「地域社会雇用創造」を推進する。特に、若者など困難に直面する人々を雇用に結びつける雇用支援分野での活用を目指す（「緊急人材育成支援事業」、「ふるさと雇用再生特別基金事業」及び「緊急雇用創出事業」の活用）。

※社会的企業：社会的課題の解決を目的とした収益事業に取り組むもの。雇用支援分野ではイタリアの社会的協同組合B型やイギリスのグラウンドワークなどがある。

- ・NPO法人等の社会的企業が保育所との連携の下に行う家庭的保育事業の試行的実施（離職者等を雇用して家庭的保育者研修を実施した上で利用者との契約により自宅で乳幼児を保育、安心こども基金を活用して実施）

この緊急雇用創出(10万人)に社会的企業を活用することの評価については、大高論文に譲るが、政府の文書としておそらくここまで明瞭に明文化されたのは初めてではないだろうか。一方、労働団体・事業団体で構成する「労働者福祉中央協議会」の第59回大会議案の中にも、社会的企業が登場し、以下のように書かれている。

『協同組合には、組合員の民主主義に基づく自治という原則があります。こうした特性をさらに活かし、協同組合経済を促進する社会的な仕組みをつくる観点から、共助の組織に関する基本法の制定を含め、法制度や施策の改善について積極的に提言していきます。さらには、地域再生の担い手として新たに登場しつつある社会的企業や社会的協同組合などの事業を促進・支援する制度づくりなども視野に入れて取り組みを進めます。…連帯経済を促進するための政策支援や協同組合に関する法制のあり方等について、関係シンクタンクや事業団

体等との共同研究を検討するほか、公的な機関の調査研究テーマにしていく可能性も追求します』。

いまや、日本における社会的企業は、雇用創出と地域再生の有効な担い手として描かれており、欧州での勃興に続いて、その可能性を大きく示している。しかし、各論文でも明らかな通り、社会的企業にはさまざまな定義があり、日本における実践もまた多様である。

「協同労働の協同組合」(ワーカーズコープ、ワーカーズ・コレクティブ)も、この社会的企業のカテゴリーに分類されることが多い。北海道大学の宮本太郎氏の著書「生活保障－排除しない社会へ」(岩波新書、2009年11月)でも、以下のように描かれている。「…体とところの弱まりを抱えた人々、あるいは高齢者の就労支援にも、社会的企業が大きな役割を果たしつつある。…協同組合の系譜では、日本でもワーカーズ・コレクティブやワーカーズコープが、イタリアの経験などにも触発されながら活動をしている。ワーカーズ・コレクティブは、とくに近年、育児支援や介護の分野で実績をあげている。またワーカーズコープの系譜に属する高齢者生活協同組合は、高齢者自らが組合員となって、雇用創出や介護事業を担っていきこうとする点で、高齢者の就労と社会参加に成果をあげている」(p.194-195参照)。

一方、障害を持つ人々の就労支援を担ってきた共同連などが進めてきている「社会的事業所」は、この度民主党政権が発表した「障がい者制度改革推進法」の中に、「(雇用等)第12条3障がい者が自ら又は協同して事業を営むことその他雇用以外の就業形態により障がい者が就業することを保障するため、障がい者による起業を支援すること等の措置を講ずるものとする」と描かれることとなった。

私たち協同総研では、「市民自治による新たな公共」の創造に向けて、「非営利の公共的社会サービス」を担う「コミュニティ事業者」の育成を通じた「就労創出」を目的に、「コミュニティ事業(就労)支援条例要綱案」を作成、提起(2007年12月)、埼玉県内のいくつかの自治体では条例づくりの学習会も開催されている。

さらに、国際的にはCICOPA(世界労協連)による「社会的協同組合の国際的基準」づくりが開始され、日本労協連もアンケートに答え、集約結果が先頃発表された(本号に掲載)。

今回の特集では、日本における社会的企業の実践的展開の可能性と課題を探ると共に、そこにおける労働の有り様はいかにあったらよいかを主題として、大高研道氏(聖学院大学)、松本典子氏(駒澤大学)のご支援・ご協力を得て編集することとなった(大変感謝致します)。会員の皆さんのご意見・ご感想などをいただければと思う(編集部)。